PDF issue: 2025-07-12

学術的文章の書き方入門

近田, 政博

(Citation)

附属図書館協同学修シリーズ:1-26

(Issue Date) 2015-11-24

(Resource Type)
learning object

(Version)

Version of Record

(URL)

https://hdl.handle.net/20.500.14094/90002994



附属図書館セミナー 2015年11月24日

学術的文章の書き方入門

神戸大学大学教育推進機構 近田 政博 chikada@tiger.kobe-u.ac.jp



O. はじめに 論理的な文章を書くことがなぜ必要なのか?

何が違うんだろう?

	日記	小説	取扱説明書
対象	自分	不特定多数 その小説を読みた い人	不特定多数 その装置を使いたい人
制約条件	なし	なし	あり(機能説明)
目的	自己満足?	読者の満足?	製品の操作方法の説明(必要なことは?)
解釈	意識せず	多様な解釈が可能	一通りの解釈のみ可

- 「人を動かし、組織を動かし、社会を動かそう と思うなら、いい文章が書けなければならな い。いい文章とは、名文ということではない。 うまい文章でなくてもよいが、達意の文章でな ければならない。文章を書くということは、何 かを伝えたいということである。自分が伝えた いことが、その文章を読む人に伝わらなければ 何もならない。」
 - 立花隆ほか『二十歳のころ』新曜社、1998, p.15
- ・「子曰、辭達而已矣」(辞は達するのみ)
 - 論語

文章を構造化する上で必要な要素

(渡辺哲司, 2013)

- ・提起する<問い>
- 問いに対する<答え>
- 答の<根拠>
 - "論ずる"とは「く問い>を起こし、それに対してく根拠>をともなったく答え>を示すこと」(渡辺,40頁)

論文の基本型

- 研究目的、意義、仮説提示
- 先行研究の整理
- 研究方法論、方法
- ・実験、調査などの結果
- ・結果の考察、仮説検証
- ・結論、残された課題
- 参考文献

学生はなぜ書けないのか?

- 学校作文から抜け出せない
- 大学教員が「論じよ」という意味がわからない
- 書くこと(あるいは表現すること全般)に対して、過剰なほどの苦手意識がある (渡辺哲司, 2013)

学校作文の伝統

- 思いつくことをありのままに綴る
- 子どもの個性や感性を尊重
 - 学校作文の例: 今日は遠足で動物園に行きました。象さんが鼻を上手に使ってリンゴを食べていました。象さんの鼻は本当に長いなあと驚きました。すごいなあと思いました。
 - 大学だと:象の鼻はなぜ長く発達したのだろうか。 私は次のように推測する。この仮説を確かめるために次のような方法を用いる。その結果、仮説通りにはならなかったので、たぶん別の理由があるのだろう。

大学で求められる文章とは?

- ・読みやすい文章
 - 複雑な文章は必要ない、簡潔に書く
- ・誤解を与えない文章
 - 多様な解釈を読者に与えない
- 科学的・論理的な文章
 - 根拠に基づく、順序性・階層性がある (佐渡島・吉野, 2008, pp.10-12)
 - なぜそうした特徴が必要なのか?

受験小論文とレポートの違いは?

- 大学受験の小論文では「私は〇〇のように考える」と説明する
- 大学のレポートでは、「〇〇の理論に基づくならば△△のように説明できる」あるいは、「〇〇のデータによると、△△のような結果が得られた」のように、一定の根拠に基づく実証が求められる

レポートと論文の違いは?

- レポートは、「〇〇について論じよ」という形で、 すでに「問い」が与えられている
 - 与えられた「問い」をどう論証するか
- 論文は、自分で「問い」を探し、立てることから出発する
 - 「問い」の立て方と論証の内容の両方が評価対象となる
- つまり、論文とレポートの違いは、水準の違いではなく、スタート地点の違い。

1. アカデミックな文章の基本

「一文一義」で書く

- 一つの文の中にメッセージは一つだけ
- 一つの段落で主要メッセージは一つだけ
- ・段落の中で、重要なメッセージを最初に言う

簡潔な日本語を心がける

- 一文をできるだけ短くする
- ・ 論理的に意味のない<mark>読点(、)や連用形接続</mark> (の、が)を極力少なくする
- 主語・述語の対応関係を明確にする
- 指示語、代名詞をできるだけ少なくする(あれ、 それ、これら、その)
- 接続詞を連発しない(逆接を多用しない)

2. 問いを立ててみよう (演習)

問いを小さな課題意識に分解すると、論点がいろいろ見えてくる

- ・ なぜ、そうなるのか?(理由)
- どうやって? (方法)
- 本当にそうか? (事実確認)
- どういう意味か? (意味づけ)
- 必ずそう言えるか? (蓋然性)
- どう対応すべきか? (対応策)
- 何がいけないのか?(問題点)

たとえば「裁判員制度の導入」なら、

- 裁判員制度とは何か?
- ・ なぜ裁判員制度が必要なのか?
- 現行の裁判制度の何が問題なのか?
- 裁判員制度導入に関する世論はどうなっているのか?
- 諸外国では裁判員制度はどうなっているのか?
- 裁判員制度の起源はどこにあるのか?
- 裁判員制度にどのような効果を期待できるのか?
- 裁判員制度の導入に伴う副作用、弊害は何か?
- ・ 裁判員制度の導入にはどのくらいのコストがかかるか?

たとえば、「大学生の学力低下」なら、

- 学力低下とは何か? 何をもって学力低下と考えるか?
- 学力低下はいけないことか?
- 本当に学力低下がおきているのか?
- なぜ学力低下がおきるのか?
- 学力低下はどのようにおきているのか?
- ・ 誰が学力低下を指摘しているのか?
- ・ 学力低下は今に始まったことなのか?
- 学力低下にどのように対応すべきか?

分解した問い→仮説→論証方法

- 仮説とは、自分が立てた小さな問いに対する「た ぶん〇〇ではないかな」という推測
- 通説を疑い、おもしろい逆説を立ててみる
- 仮説を立てたら、それを論証する方法を考える
- ・たとえば、
 - 小さな問い:タバコ増税は逆進性が大きく、課税の公平性という点で問題があるのでは?
 - 仮説:タバコ増税は所得格差を拡大させる。
 - 論証方法:所得別の喫煙率データを探す
 - (所得の低い層ほど喫煙率は高いかもしれない)

演習問題1

- ・3人一組のグループごとに、次の課題の中から1つを選択してください(あるいは指定?)
- ・選択した課題を5個の小さな問いに分解してください。
 - ①神戸大キャンパスの全面禁煙
 - ②国立大文系学部・教員養成学部の改編
 - ③成人年齢の18歳引き下げ

演習問題2

- ・5個の小さな問いのどれか一つを選び、自分なりの仮説を立ててみてください。
- 仮説を立てたら、それを論証する方法を考えてください。
- →通説よりも、逆説の方がおもしろいです。

演習問題3

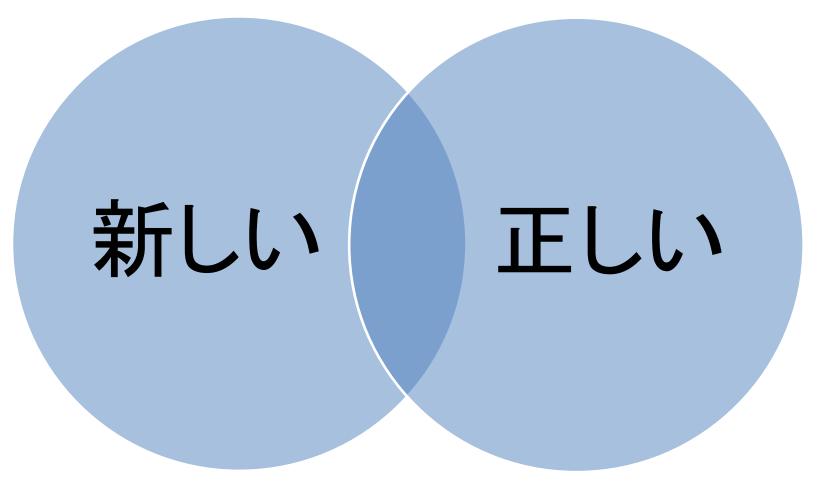
あなたの考えた「小さな問い」→仮説→論証 方法をグループ内で発表してください。

例

- 【小さな問い】
- 学内全面禁煙によるリスクは何か?
- ・【自分なりの仮説】
- ・ 喫煙する教授陣の集中力が落ちて、教育・研 究成果が大幅に低下する
- •【論証方法】
- ・ 喫煙教授陣の論文数、科研費採択数を学内 全面禁煙の前後で比較する

「科学とは、新しくて正しいことを言う営み」

(戸田山和久, 2011年, 104-105頁)



→だから論文を書くのは難しい!

まずは、与えられた「問い」を自分なりに展開するところから始めましょう。

つまり、

- ①問いを展開・分解し、
- ②最も関心を抱いた問いについて仮説を立て、
- ③論証する方法を考え、
- 4論証を実行し、
- 5 得られた結果をもとに結論をまとめる、 というのがアカデミックな文章の基本形です。

書く力をつけるための基本文献

- 木下是雄『レポートの組み立て方』中公新書、1994 年、780円
- ・ 戸田山和久『論文の教室』NHKブックス、ブックス、 2002年、1120円
- ・ 佐渡島紗織・吉野亜矢子『これから研究を書く人のためのガイドブック』ひつじ書房、2008年、2000年
- 戸田山和久『「科学的思考」のレッスン 学校で教えてくれないサイエンス』NHK出版新書、2011年、860円 +税
- 渡辺哲司『大学への文章学 コミュニケーション手段 としてのレポート・小論文』学術出版会、2013年、 1600円